

舟橋聖一『白い魔魚』の魅力

講師：林正子氏（岐阜大学名誉教授・特任教授）

舟橋聖一（1904～76）の長編小説『白い魔魚』を対象として、作家の創意工夫がうかがえる構成力や世相を映じる鏡としての文学作品の意義を論じます。

日時：令和4年8月28日（日）
10時00分～11時30分
会場：各務原市立中央図書館

受講料：無料

定員：50名（申込順）

申込方法：8月2日（火）から
中央図書館2階窓口、
FAX 058-371-1145、
電話 058-383-1122

申込 QR コード



【講師紹介】

林正子（はやし まさこ）

岡山県倉敷市生まれ

神戸大学大学院文化科学研究科博士課程単位修得退学

博士（文学） 日本近代文学専攻

DAAD（ドイツ学術交流会）奨学生としてミュンヘン大学留学



1987年 岐阜大学教養部講師

1994年～95年 ハイデルベルク大学客員教授

1996年 岐阜大学地域科学部教授

2003年～04年 ライプチヒ大学客員教授

現在、岐阜大学名誉教授・特任教授

☆新型コロナウイルス感染防止対策について、ご協力をお願いします。

・会場の収容人数を減らして開催します。

・当日はマスクを着用のうえご参加ください。発熱等で体調不良の方のご参加はご遠慮いただきます。

切り取り線

<申込用紙>

氏名	フリガナ	電話番号

<申込先> 各務原市立中央図書館

TEL：058-383-1122

FAX：058-371-1145